

地域農業の在り方等を踏まえた市町村支援計画等の概要

【地区の概要】

- 水稻を主体に、畜産、野菜の生産を行う平地農業地域。
- 農業者の高齢化や後継者不足が進行しており、担い手農家や機械共同利用の営農組織の育成・確保が課題。

【支援内容・背景】

- 担い手の経営規模の拡大に対応して、作業の効率化、省力化等の取組に対する支援をする必要。
- 助成対象者は地区内で水稻を中心に畜産(和牛繁殖)との複合経営を営む個人であり、経営規模の一層の拡大、収益性向上、有機農業等に取り組む。
地域における水稻と畜産(和牛繁殖)の複合経営の経営力強化の取組モデルとして支援。



助成対象者の経営の状況と事業内容

【経営の経緯】

- 平成9年 農業経営改善計画認定
- 平成23年 家族経営協定締結（夫婦及び親子）
- 令和3年 有機JAS認証

《事業活用の背景》

○ 水稻の経営面積の拡大と生産性向上を図るため、作業の効率化や省力化等に向け、水稻の収穫・乾燥・調製作業の効率化等に資する高性能機械を導入。

【事業実施時の状況】
〈R1年度〉

○売上高 30百万円

○経営面積 16.6ha
(水稻)

《事業による整備内容》

○コンバイン 1台
事業費 11,800千円
(国費 1,914千円)

○乾燥機 50石 1台
事業費 2,400千円
(国費 390千円)

【現在の経営状況】
〈R4年度〉

○売上高 32百万円 (107%)

○経営面積 22.3ha (134%)
(水稻)

事業の
効果

《対象者》 水稻の作業の効率化、省力化が図られ、経営面積の拡大、売上高の増加が実現。

《地区》 水稻の生産体制の強化が図られることにより、安定した経営が可能な水稻・畜産の大規模複合経営として地域農業を牽引。